

平成29年度 食育・地産地消に関するアンケート調査結果（県民対象）

■調査概要

調査月日：平成30年1月27日～2月26日

調査方法：郵送調査 調査対象（一般県民 2,000名）

調査対象者の抽出（各市町の住民基本台帳から、人口割、年齢階級割により無作為抽出）

回答者数：1,082名（回答率 54.1%）

■回答者の属性

A 住所(市町名)（上段：回答者数、下段：全回答者数1,082人に対する割合）

市町	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市
人数	327	52	33	41	24	81
割合(%)	30.2%	4.8%	3.1%	3.8%	2.2%	7.5%
市町	あわら市	越前市	坂井市	永平寺町	池田町	南越前町
人数	37	90	110	22	3	14
割合(%)	3.4%	8.3%	10.2%	2.0%	0.3%	1.3%
市町	越前町	美浜町	高浜町	おおい町	若狭町	無回答
人数	27	7	13	9	23	169
割合(%)	2.5%	0.7%	1.2%	0.8%	2.1%	15.6%

B 年齢

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
人数	17	54	92	163	173	233	346	4
割合	1.6%	5.0%	8.5%	15.1%	16.0%	21.5%	32.0%	0.4%

C 性別

性別	男性	女性	無回答
人数	424	651	7
割合(%)	39.2%	60.2%	0.6%

D 職業

職業	正規職員	パート・アルバイト	会社役員	自営業	その他(有職)
人数	295	168	45	108	41
割合(%)	27.3%	15.5%	4.2%	10.0%	3.8%
職業	主婦	学生	定年退職者	その他(無職)	不明
人数	207	27	130	49	12
割合(%)	19.1%	2.5%	12.0%	4.5%	1.1%

E 世帯構成

構成	単身	核家族	多世代	その他	不明
人数	40	515	356	151	20
割合(%)	3.7%	47.6%	32.9%	14.0%	1.8%

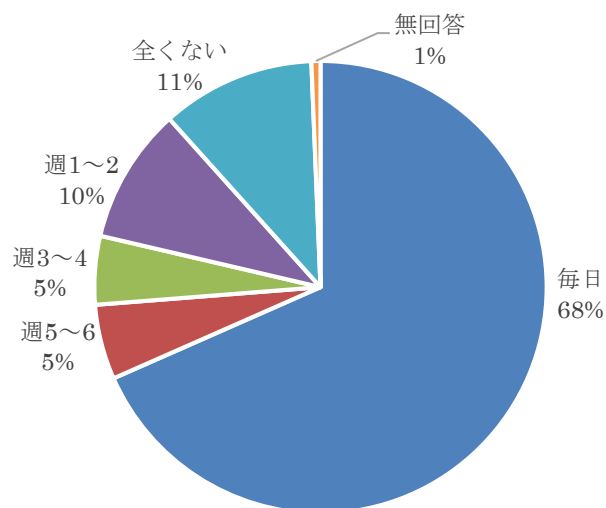
I あなたの「普段の食生活」と「食育」についてお聞きします。

問1 あなたは、1週間のうち何回、家族または知人等と一緒に食事をしていますか。(回答者 1,082 人)

【朝食】

回数	毎日	週5～6回	週3～4回	週1～2回	全くない	無回答
人数	740	58	53	105	119	7
割合(%)	68.4%	5.4%	4.9%	9.7%	11.0%	0.6%

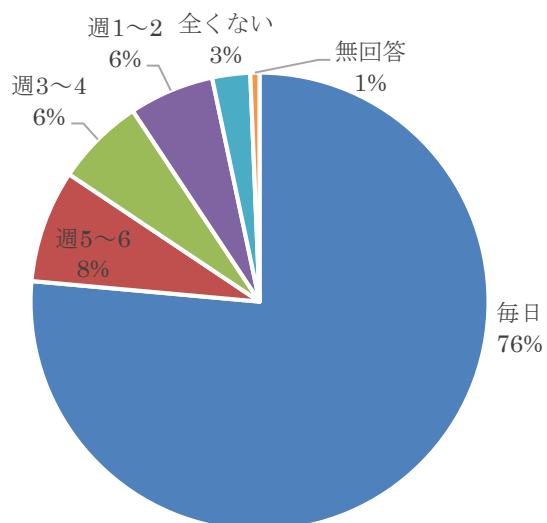
朝食を家族または知人等と一緒に食べる回数



【夕食】

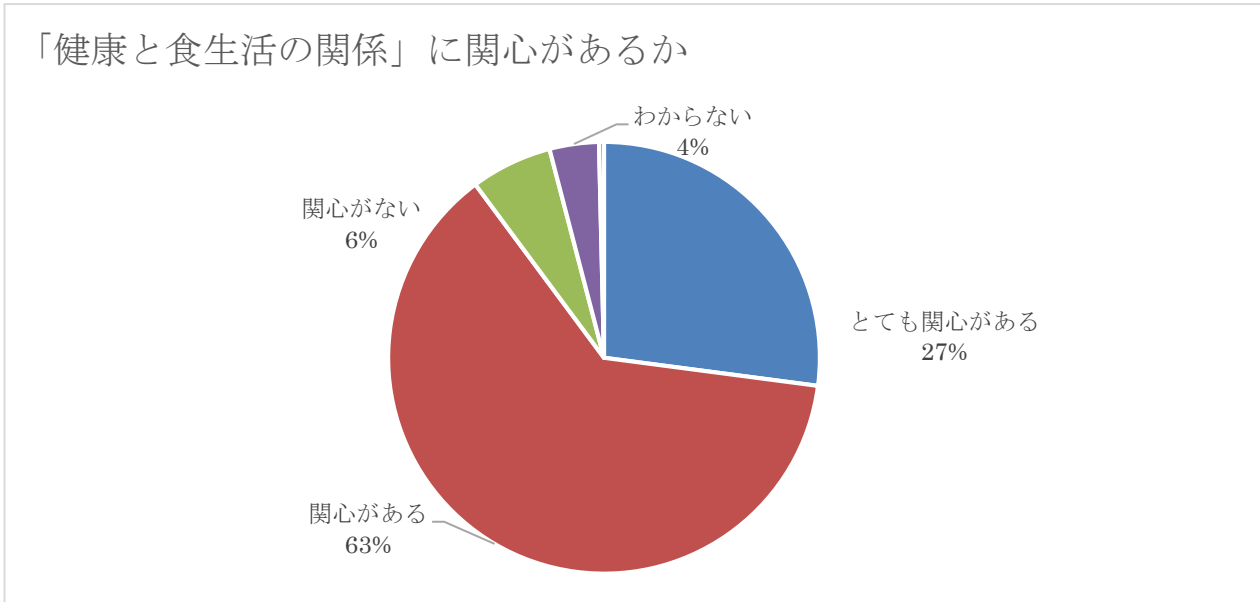
回数	毎日	週5～6回	週3～4回	週1～2回	全くない	無回答
人数	827	86	68	65	29	7
割合(%)	76.4%	8.0%	6.3%	6.0%	2.7%	0.7%

夕食を家族または知人等と一緒に食べる回数



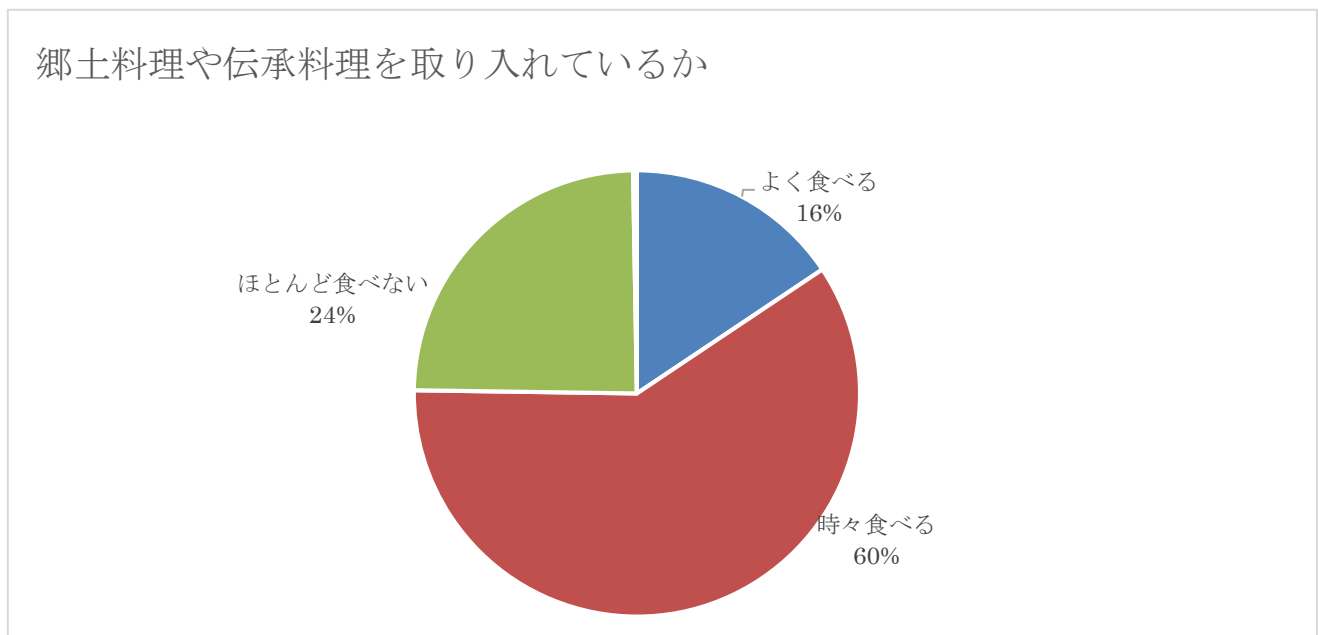
問2 あなたは、「健康と食生活の関係」について関心がありますか。

回答	とても 関心がある	関心がある	関心がない	わからない	無回答
人数	293	679	66	40	4
割合(%)	27.1%	62.8%	6.1%	3.7%	0.4%



問3 あなた(あなたの家族)は、日常の食事の中に郷土料理や伝承料理を取り入れて食べていますか。

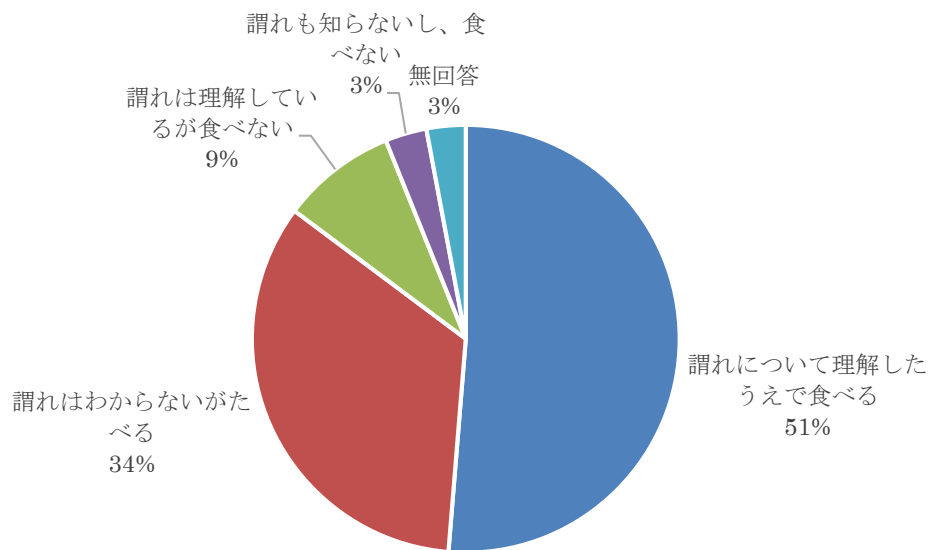
回答	よく食べる	ときどき食べる	ほとんど食べない	無回答
人数	169	645	265	3
割合(%)	15.6%	59.6%	24.5%	0.3%



問4 あなた(あなたの家族)は、行事食(おせち料理、桃の節句、端午の節句等の行事で食べる食事)を取り入れて年に1回以上食べていますか。

回答	謂れについて理解した上で食べる	謂れはわからないが食べる	謂れは理解しているが食べない	謂れも知らないし食べない	無回答
人数	555	367	94	34	32
割合(%)	51.3%	33.9%	8.7%	3.1%	3.0%

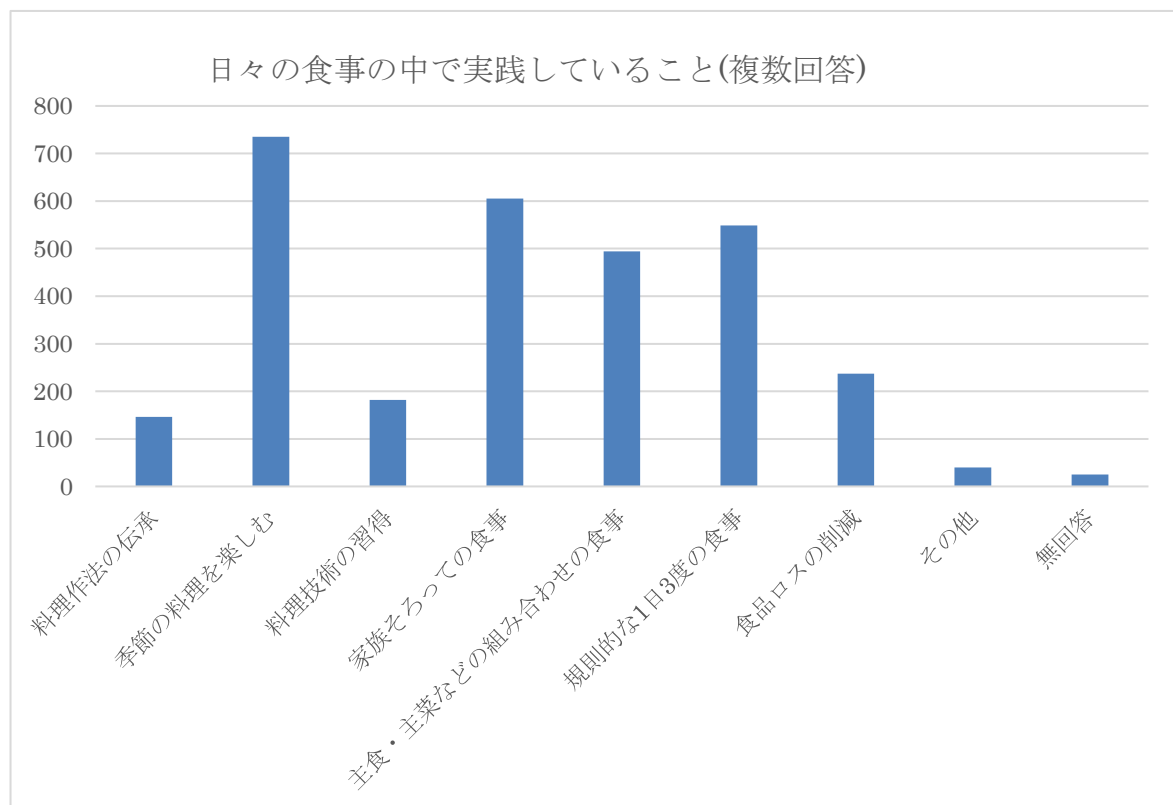
行事食を取り入れて年に1回以上食べている



問5 あなた(あなたの家庭)が、日々の食事の中で実践していることはどれですか(複数回答)。

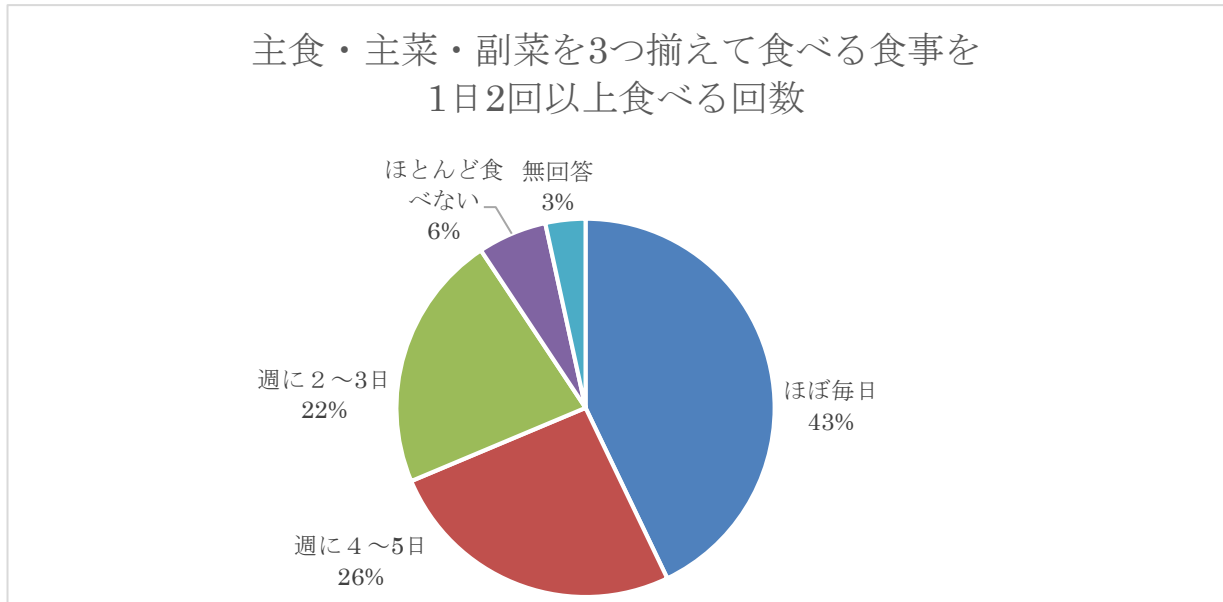
1. 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を伝えること
2. 旬の食材を使って季節に応じた料理を楽しむこと
3. 食材に関する知識や料理技術を身につけること
4. 家族揃って食卓を囲み、会話をしながら楽しく食べること。
5. 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べること。
6. 朝昼晩、3食きちんと決まった時間に食べること。
7. 生産から消費までの食べ物の循環を意識し、食品ロスを減らすこと。
8. その他

回答	1 料理作法 の伝承	2 季節の料 理を楽し む	3 料理技術 の習得	4 家族そろ っての食 事	5 主食・主 菜などの 組み合わ せの食事	6 規則的な 一日三度 の食事	7 食品ロス の削減	8 その他	無回答
人数	146	735	182	605	494	549	237	40	25
割合 (%)	13.5%	67.9%	16.8%	55.9%	45.7%	50.7%	21.9%	3.7%	23.6%



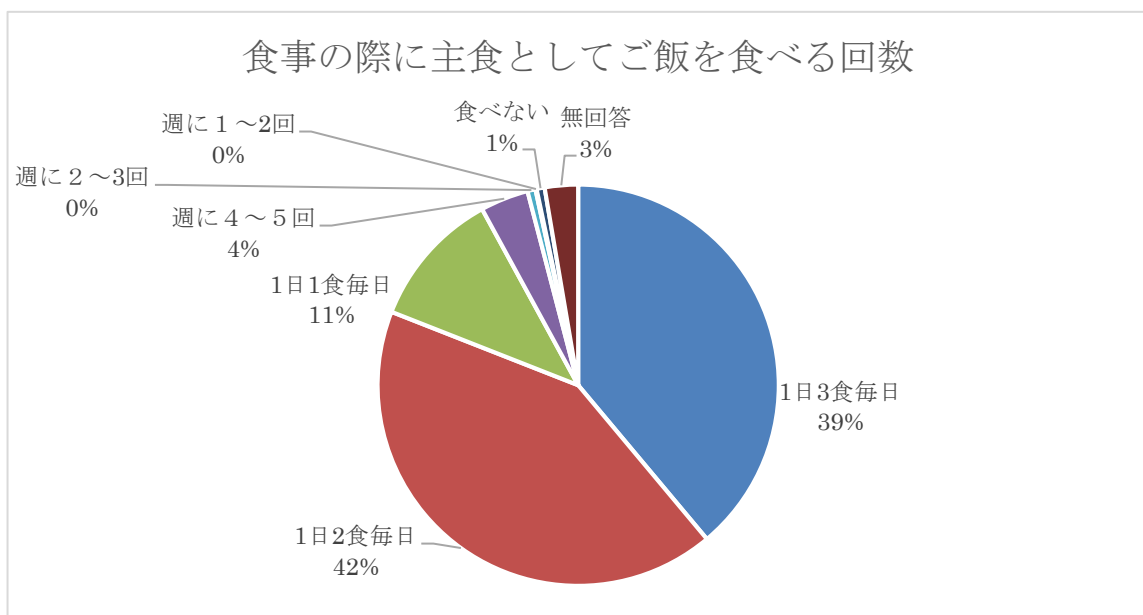
6 主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる食事を1日に2回以上食べるのは、週に何日ありますか。

頻度	ほぼ毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんど食べない	無回答
人数	464	279	238	64	37
割合(%)	42.9%	25.8%	22.0%	5.9%	3.4%



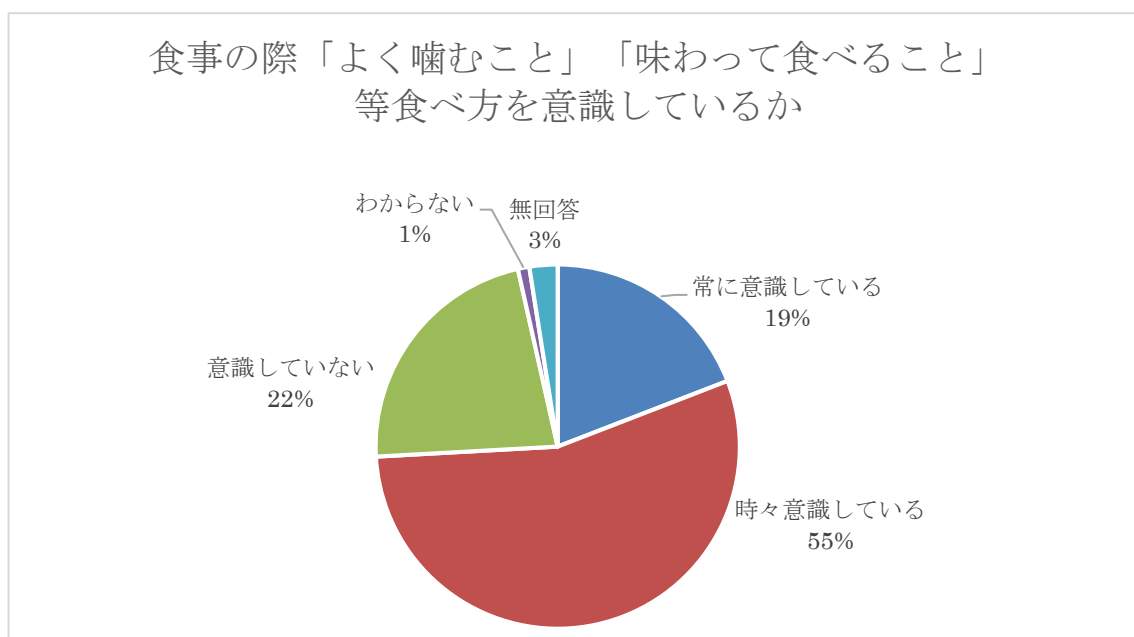
7 あなた(あなたの家族)は、食事の際に主食としてご飯を食べますか。

頻度	1日3食毎日	1日2食毎日	1日1食毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1～2回	食べない	無回答
人数	421	455	120	42	7	1	7	29
割合(%)	38.9%	42.1%	11.1%	3.9%	0.6%	0.1%	0.6%	2.7%



8 あなた(あなたの家庭では)、食事をする時に、「よく噛むこと」「味わって食べること」など、食べ方を意識していますか。

頻度	常に意識している	時々意識している	意識していない	わからない	無回答
人数	207	595	242	11	27
割合(%)	19.1%	55.0%	22.4%	1.0%	2.5%



9 あなた(あなたの家庭)の日常の食事では、どのくらいの頻度で手作りをしていますか。

【朝食】

回数	毎日	週5～6回	週3～4回	週1～2回	全くない	無回答
人数	661	135	93	89	71	33
割合(%)	61.1%	12.5%	8.6%	8.2%	6.6%	3.0%

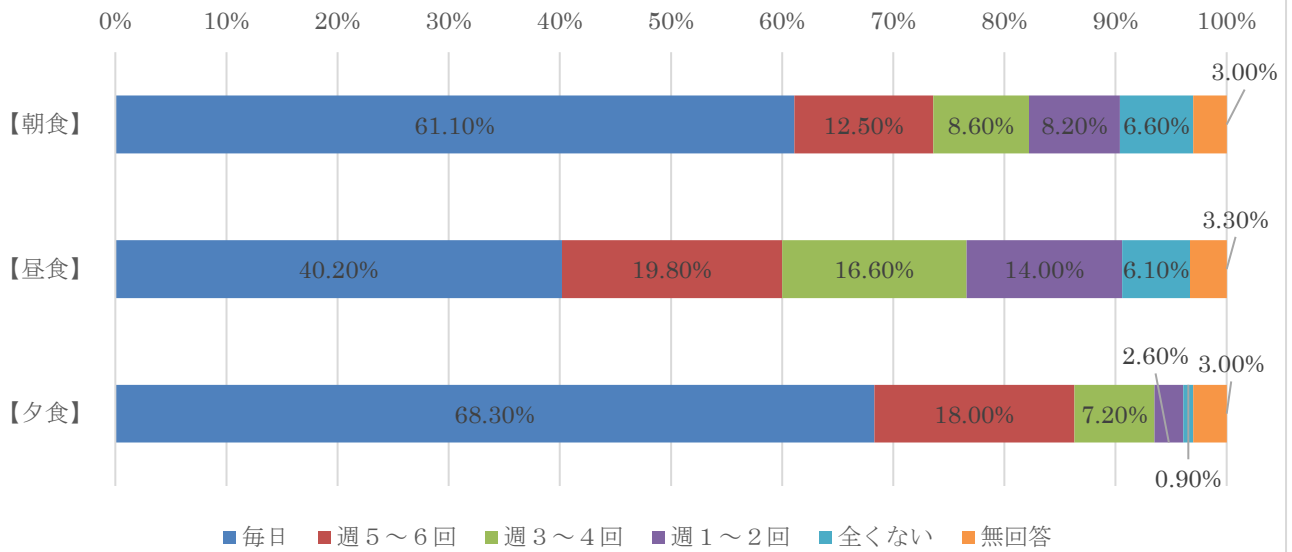
【昼食】

回数	毎日	週5～6回	週3～4回	週1～2回	全くない	無回答
人数	435	214	180	151	66	36
割合(%)	40.2%	19.8%	16.6%	14.0%	6.1%	3.3%

【夕食】

回数	毎日	週5～6回	週3～4回	週1～2回	全くない	無回答
人数	739	195	78	28	10	32
割合(%)	68.3%	18.0%	7.2%	2.6%	0.9%	3.0%

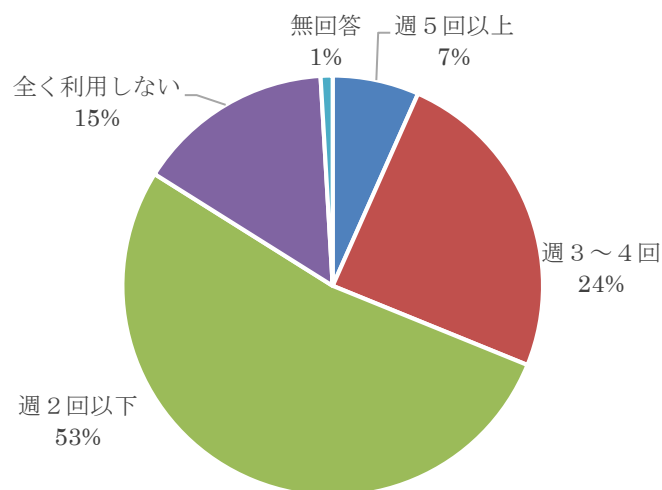
家庭の日常の食事で作りをしている回数



問10 あなた(あなたの家庭で)は、家庭での食事に市販のお惣菜やお弁当をどのくらいの頻度で利用していますか。市販のお惣菜、お弁当には、外食店のデリバリーや宅配弁当を含みます。

回数	週5回以上	週3~4回	週2回以下	全く利用しない	無回答
人数	72	265	571	164	10
割合(%)	6.7%	24.5%	52.8%	15.2%	0.9%

市販の惣菜や弁当を利用する回数

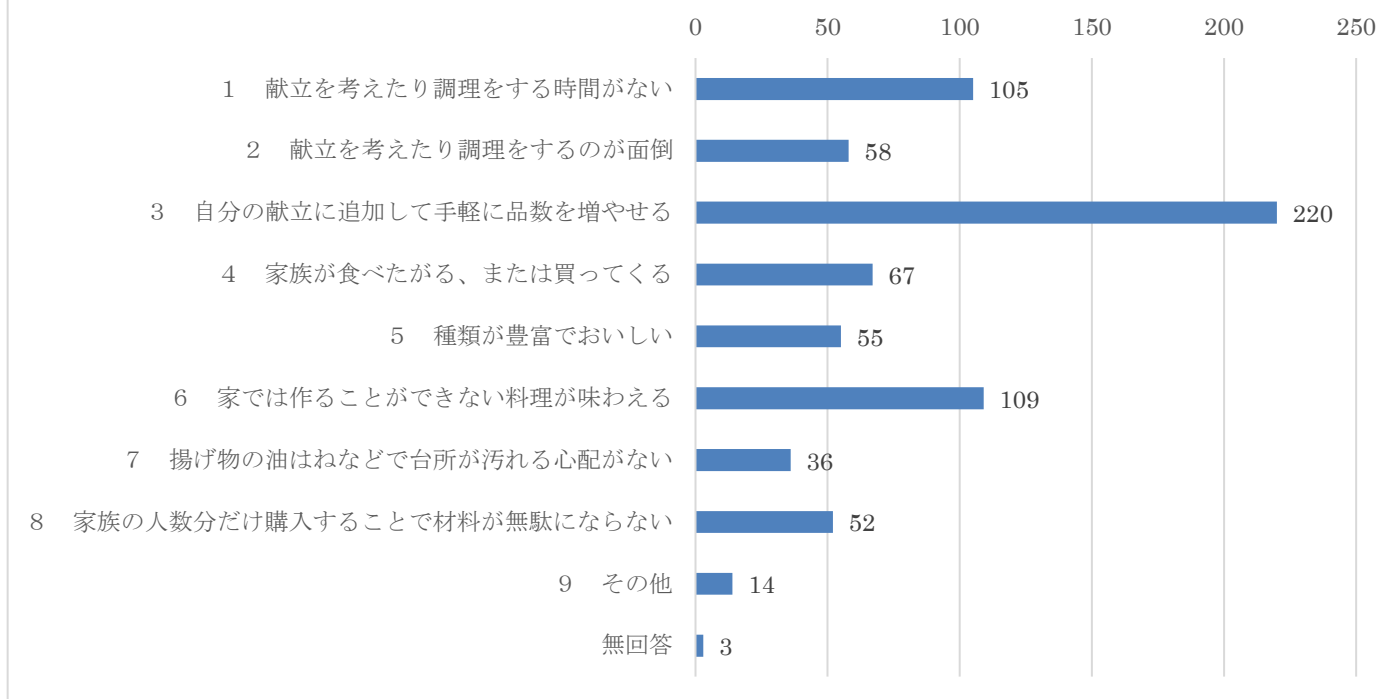


問11 問10で回答を選択した理由をお答えください。(〇は3つまで)

【問10で「週5回以上」「週3～4回」と回答した人】(337人)

回答した理由	人数	割合(%)
1 献立を考えたり調理をする時間がないから	105	31.2%
2 献立を考えたり調理をするのが面倒だから(技術がないから)	58	17.2%
3 自分の献立に追加して手軽に品数を増やせるから	220	65.3%
4 家族が食べたがる、または買ってくるから	67	19.9%
5 種類が豊富でおいしいから	55	16.3%
6 家では作ることができない料理が味わえるから	109	32.3%
7 揚げ物の油はねなどで台所が汚れる心配がないから	36	10.7%
8 家族の人数分だけ購入することで材料が無駄にならないから	52	15.4%
9 その他	14	4.2%
無回答	3	0.9%

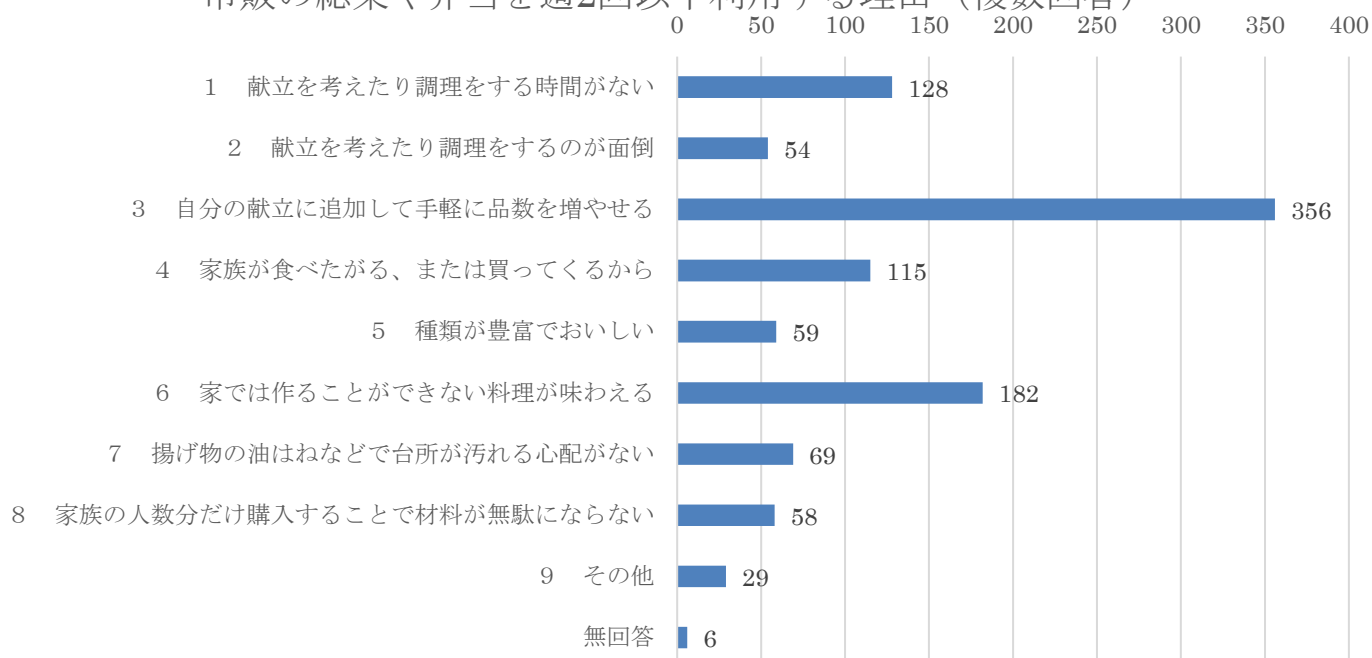
市販の総菜や弁当を週5回以上、週3～4回利用する理由
(複数回答)



【問10で「週2回以下」と回答した人】(571人)

回答した理由	人数	割合(%)
1 献立を考えたり調理をする時間がないから	128	22.4%
2 献立を考えたり調理をするのが面倒だから(技術がないから)	54	9.5%
3 自分の献立に追加して手軽に品数を増やせるから	356	62.3%
4 家族が食べたがる、または買ってくるから	115	20.1%
5 種類が豊富でおいしいから	59	10.3%
6 家では作ることができない料理が味わえるから	182	31.9%
7 揚げ物の油はねなどで台所が汚れる心配がないから	69	12.1%
8 家族の人数分だけ購入することで材料が無駄にならないから	58	10.2%
9 その他	29	5.1%
無回答	6	1.1%

市販の総菜や弁当を週2回以下利用する理由 (複数回答)



【問10で「全く利用しない」と回答した人】(164人)

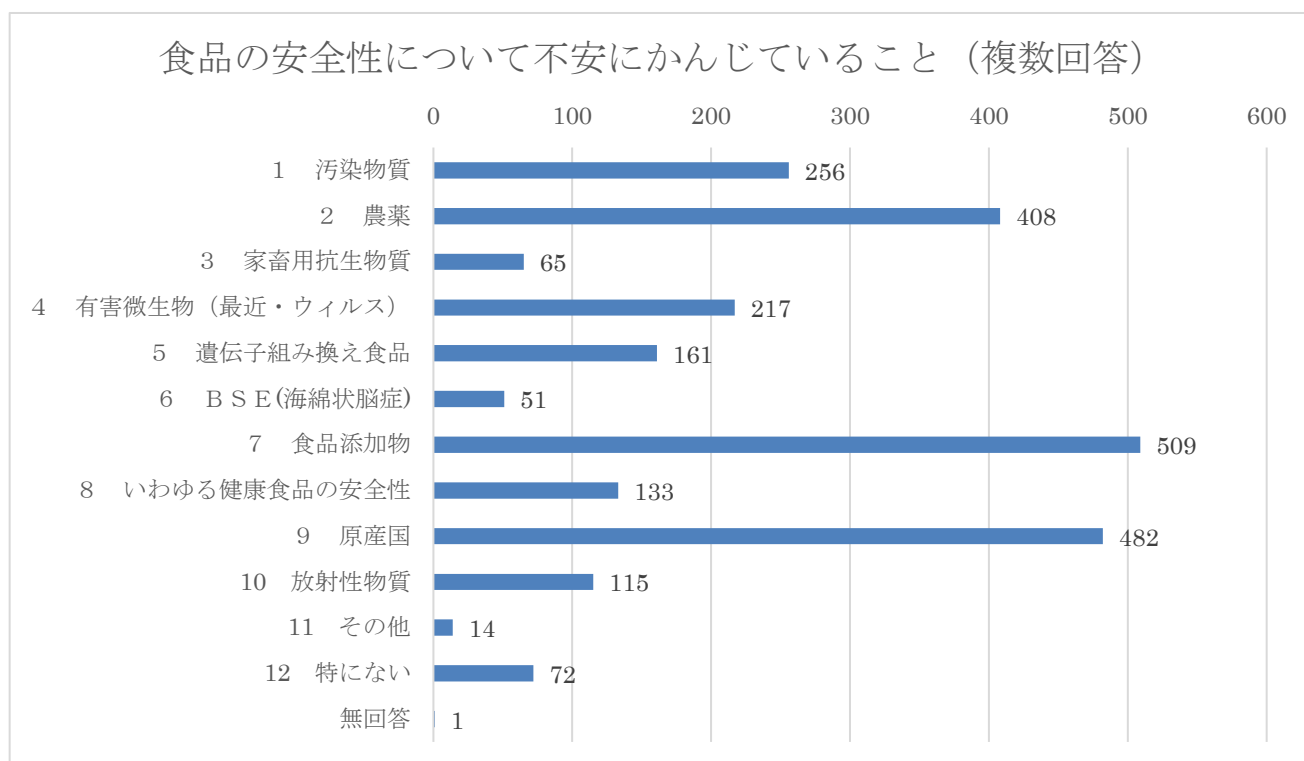
回答した理由	人数	割合(%)
1 献立を考えたり調理をする時間がないから	4	2.4%
2 献立を考えたり調理をするのが面倒だから(技術がないから)	3	1.8%
3 自分の献立に追加して手軽に品数を増やせるから	9	5.5%
4 家族が食べたがる、または買ってくるから	4	2.4%
5 種類が豊富でおいしいから	3	1.8%
6 家では作ることができない料理が味わえるから	5	3.0%
7 揚げ物の油はねなどで台所が汚れる心配がないから	2	1.2%
8 家族の人数分だけ購入することで材料が無駄にならないから	6	3.7%
9 その他	37	22.6%
無回答	109	66.5%

問12 食品の安全性についてあなたは不安に感じていることがありますか。

あるとすれば、それは何ですか。(〇は3つまで)

回 答	人数	割合(%)
1 汚染物質	256	23.7%
2 農薬	408	37.7%
3 家畜用抗生物質	65	6.0%
4 有害微生物 (最近・ウイルス)	217	20.1%
5 遺伝子組み換え食品	161	14.9%
6 B S E(海綿状脳症)	51	4.7%
7 食品添加物	509	5.5%
8 いわゆる健康食品の安全性	133	12.3%
9 原産国	482	44.5%
10 放射性物質	115	10.6%
11 その他	14	1.3%
12 特にない	72	6.7%
無回答	1	0.1%

食品の安全性について不安に感じていること (複数回答)

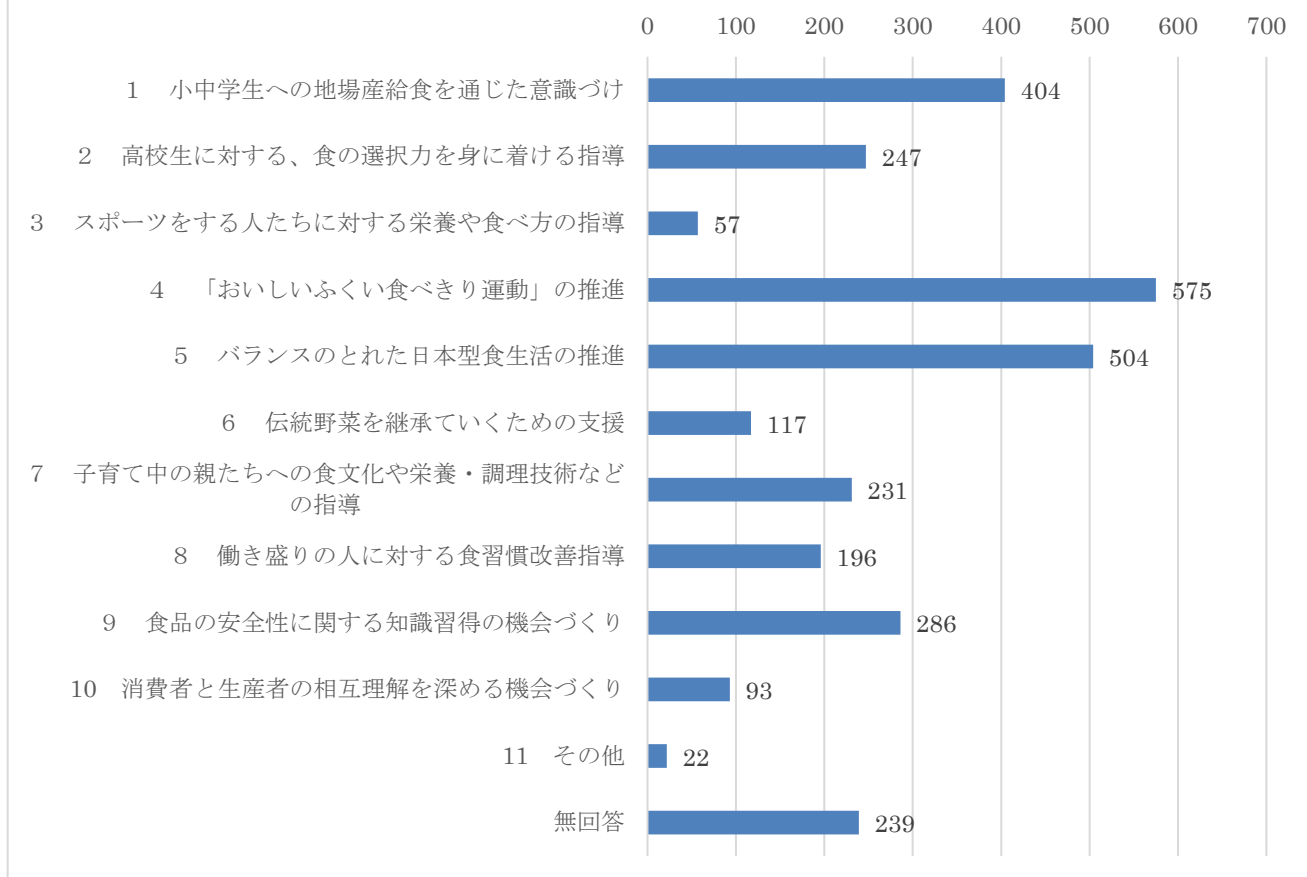


問13. 食育について、県では下記の施策に取り組んでいます。

この中で、引き続き推進の強化が必要だと考えるものは何ですか。また、下記項目以外に取り組むべきことについて、その他の欄に御記入ください。(○印は3つまで) (回答者 1,082 人中)

回 答	人数	割合(%)
1 小中学生に対する地場産給食を通じた農林漁業や食への意識づけ	404	37.3%
2 近い将来自立した食生活を送る高校生に対する、食の選択力を身に着ける指導	247	22.8%
3 継続的にスポーツをする人たちに対する栄養や食べ方の指導	57	5.3%
4 食べ残しや廃棄を減らす「おいしいふくい食べきり運動」の推進	575	53.1%
5 ごはんを主食としながら、主菜・副菜に加え適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた日本型食生活の推進	504	46.6%
6 伝統野菜を継承し長く栽培していくための支援	117	10.8%
7 子育て中の親たちに対する食にまつわる文化や栄養・調理技術などの指導	231	21.3%
8 働き盛りの人たちに対する食習慣改善指導	196	18.1%
9 食品の安全性に関する知識を習得するための機会づくり	286	26.4%
10 消費者と生産者の相互理解を深めるための機会づくり	93	8.6%
11 その他	22	2.0%
無回答	239	22.1%

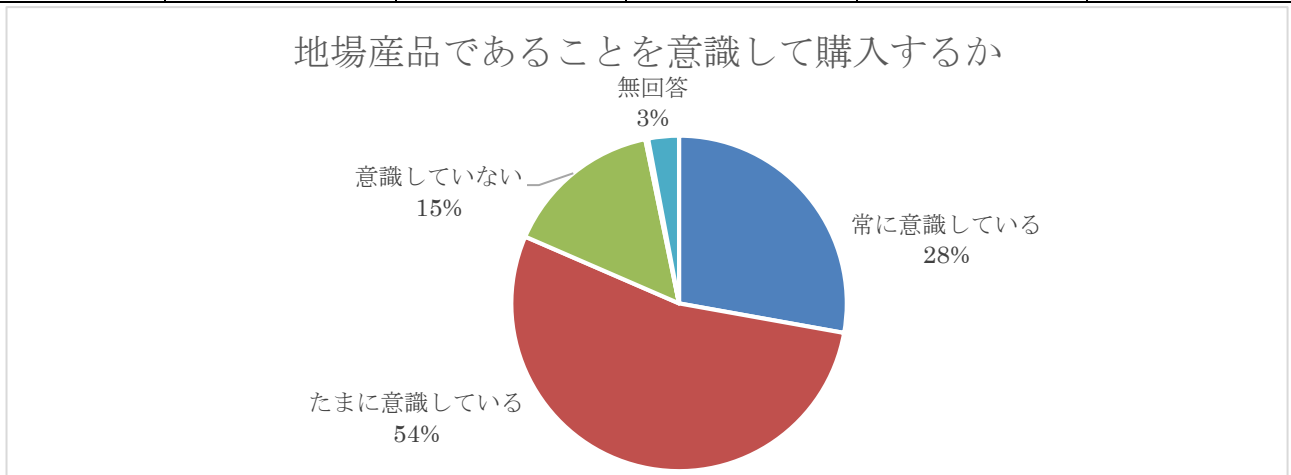
県の施策の中で、引き続き推進の強化が必要だと思うこと
(複数回答)



Ⅱ 「地産地消」についてお聞きします。

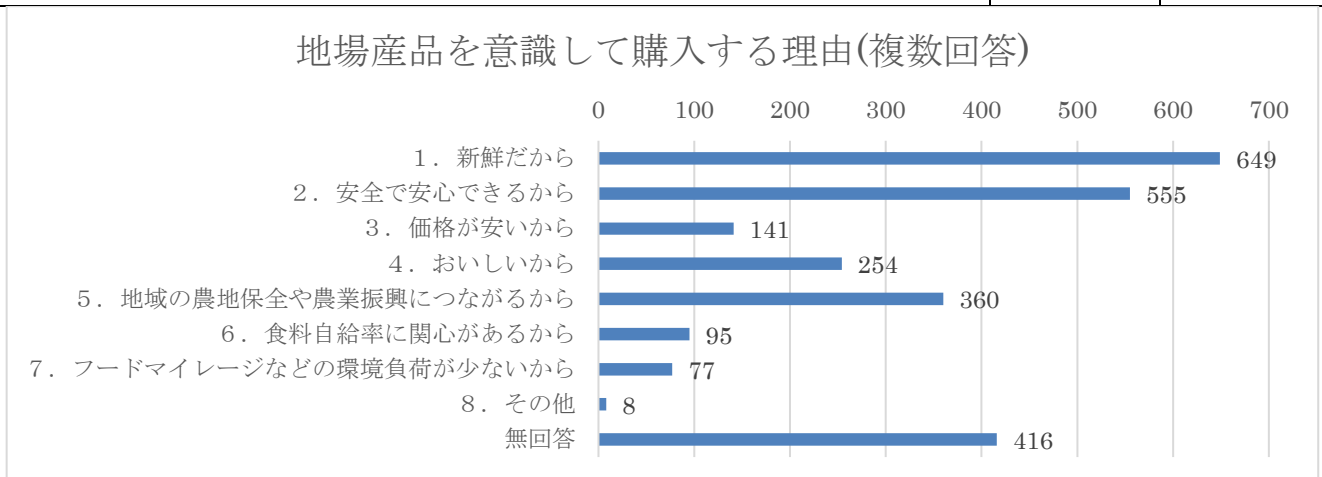
問14. あなたは、農林水産物や農産加工品を購入する際、福井県産農林水産物（以下「地場産品」という）であることを意識していますか。（回答者 1,082 人中）

回答	常に意識している	たまに意識している	意識していない	その他	無回答
人数	301	581	165	3	32
割合(%)	27.8%	53.7%	15.2%	0.3%	3.0%



問15. 問14で、「1.常に意識している」、または「2.たまに意識している」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか。（複数回答）（回答者 882 人中）

回答	人数	割合(%)
1. 新鮮だから	649	73.6%
2. 安全で安心できるから	555	62.9%
3. 価格が安いから	141	16.0%
4. おいしいから	254	28.8%
5. 地域の農地保全や農業振興につながるから	360	40.8%
6. 食料自給率に関心があるから	95	10.8%
7. フードマイレージなどの環境負荷が少ないから	77	8.7%
8. その他	8	0.9%
無回答	416	47.2%



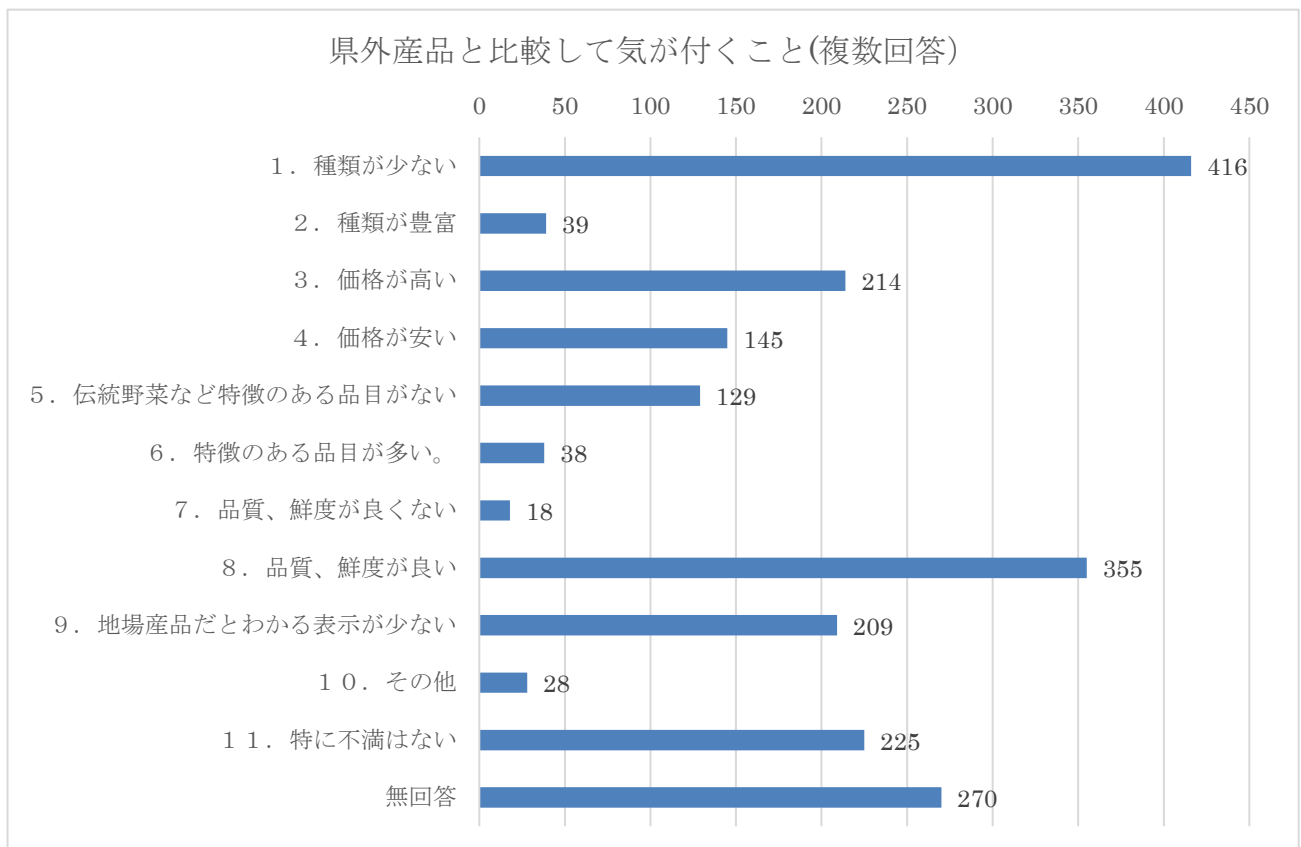
問16. あなたが、スーパーなど量販店で地場産品を購入する際、県外産品と比較して

気がつくことはありますか。あるとすればそれは何ですか。(複数回答)

(回答者 1,082 人中)

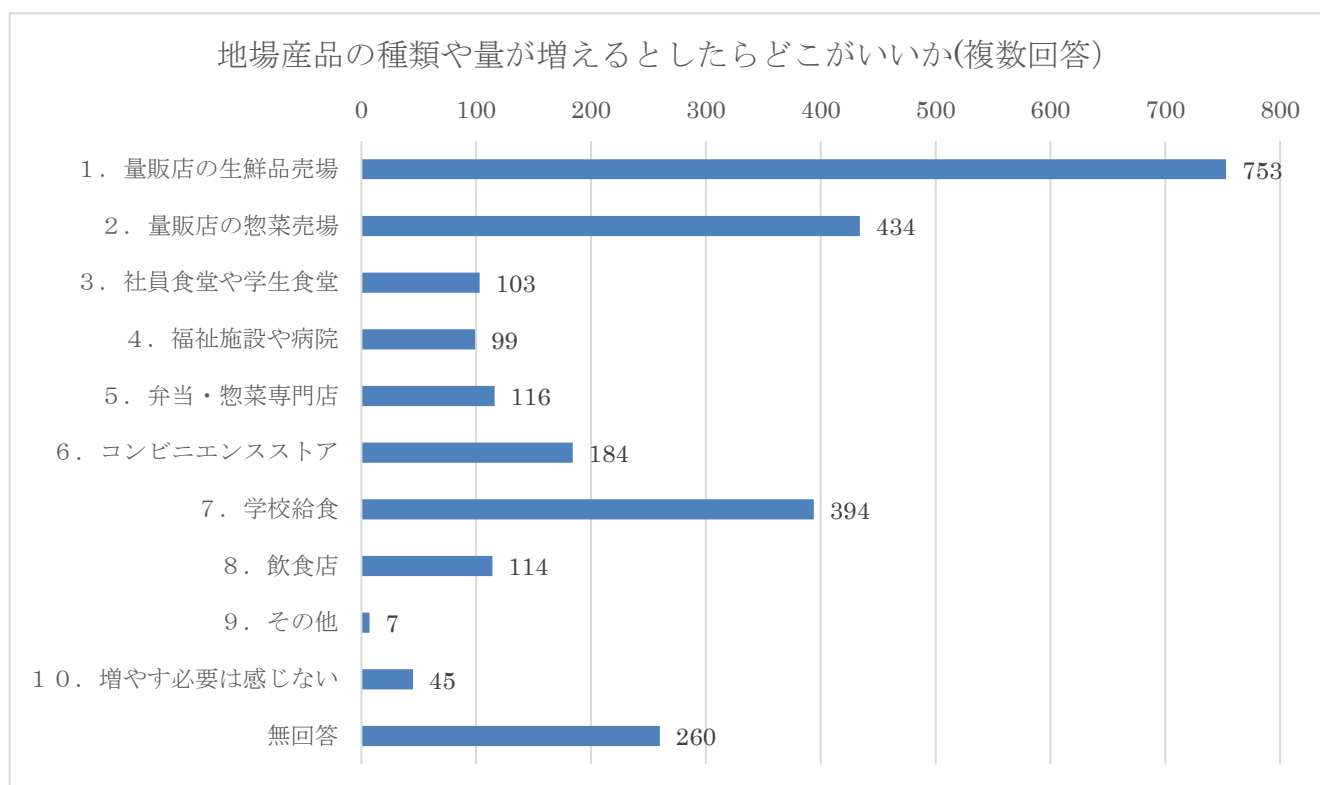
回 答	人数	割合(%)
1. 種類が少ない	416	38.4%
2. 種類が豊富	39	3.6%
3. 価格が高い	214	19.8%
4. 価格が安い	145	13.4%
5. 伝統野菜など特徴のある品目がない	129	11.9%
6. 特徴のある品目が多い。	38	3.5%
7. 品質、鮮度が良くない	18	1.7%
8. 品質、鮮度が良い	355	32.8%
9. 地場産品だとわかる表示が少ない	209	19.3%
10. その他	28	2.6%
11. 特に不満はない	225	20.8%
無回答	270	25.0%

県外産品と比較して気が付くこと(複数回答)



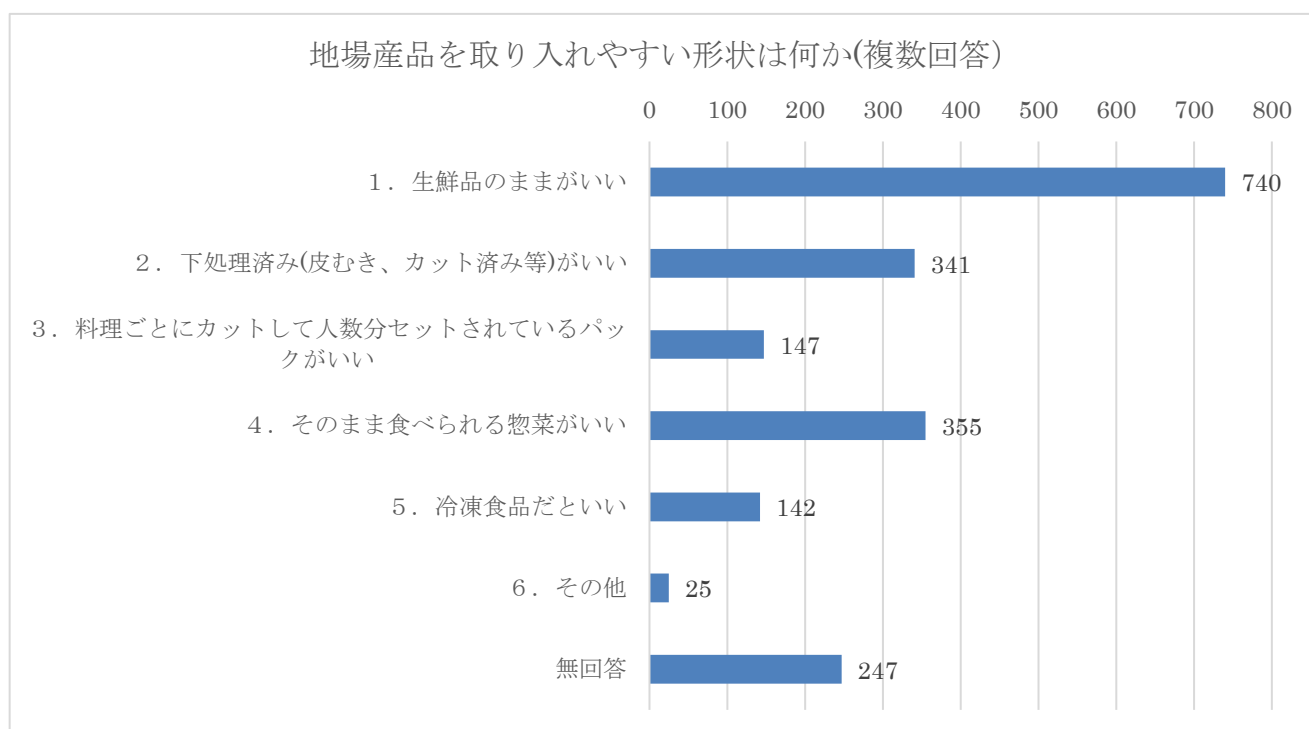
問17. あなたは、販売・使用される地場産品の種類や量が今より増えた方が良いと考えますか。増えれば、どこで増えるのが良いと思いますか。(〇印は3つまで) (回答者 1,082 人中)

回 答	人数	割合(%)
1. 量販店の生鮮品売場	753	69.6%
2. 量販店の惣菜売場	434	40.1%
3. 社員食堂や学生食堂	103	9.5%
4. 福祉施設や病院	99	9.2%
5. 弁当・惣菜専門店	116	10.7%
6. コンビニエンスストア	184	17.0%
7. 学校給食	394	36.4%
8. 飲食店	114	10.5%
9. その他	7	0.6%
10. 増やす必要は感じない	45	4.2%
無回答	260	24.0%



問18. あなたは、地場産品がどのような形で販売されていると日々の食事に取り入れやすいと思いますか。(3つまで) (回答者 1,082 人中)

回 答	人数	割合(%)
1. 生鮮品のままがいい	740	68.4%
2. 下処理済み(皮むき、カット済み等)がいい	341	31.5%
3. 料理ごとにカットして人数分セットされているパックがいい	147	13.6%
4. そのまま食べられる惣菜がいい	355	32.8%
5. 冷凍食品だといい	142	13.1%
6. その他	25	2.3%
無回答	247	22.8%



問19. 県では、地産地消をさらに進めるしくみを検討しています。どのようなしくみがあれば、地産地消が進むと考えますか。(〇印は3つまで) (回答者 1,082 人中)

回 答	人数	割合(%)
1. ポイント制度の導入などにより、購入金額の一部が購入者に還元されるしくみ	421	38.9%
2. 地場産品を積極的に活用する飲食店や量販店等に経済的支援をするしくみ	307	28.4%
3. 弁当や総菜など、地場産品を使用した加工食品を購入できるしくみ	321	29.7%
4. 下処理済みの地場産品（一次加工品）を購入できるしくみ	245	22.6%
5. 食育や地産地消を積極的に推進するボランティア活動の応援につながるしくみ	85	7.9%
6. 学校給食における地場産品の利用推進など、子どもたちへの提供につながるしくみ	537	49.6%
7. 農林漁業体験を通じた地場産品に対する理解を促すしくみ	115	10.6%
8. 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を若い世代に伝えるしくみ	259	23.9%
9. 食の循環と環境への配慮について学ぶしくみ	113	10.4%
10. その他	23	2.1%
無回答	289	24.9%

